



学校報「三中の木」



令和5年10月3日(火)
第12号 文責: 校長 工藤 真弘
TEL: 52-5138

全国学力・学習状況調査結果 その2 ～ICT活用はダントツ、家庭学習の強化が課題に～

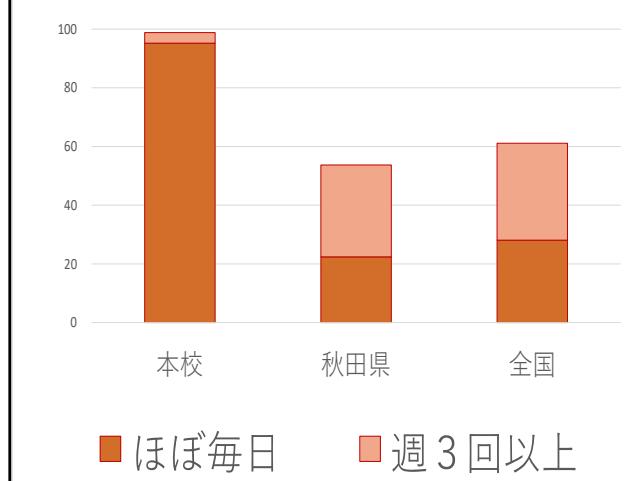
生徒質問紙(アンケート)結果②「ICT活用」

ICT教育について秋田県は全国より遅れていると言われており、授業でのタブレット活用率も非常に低い状況です。一方、本校の活用率は全国平均をも大きく上回っています。

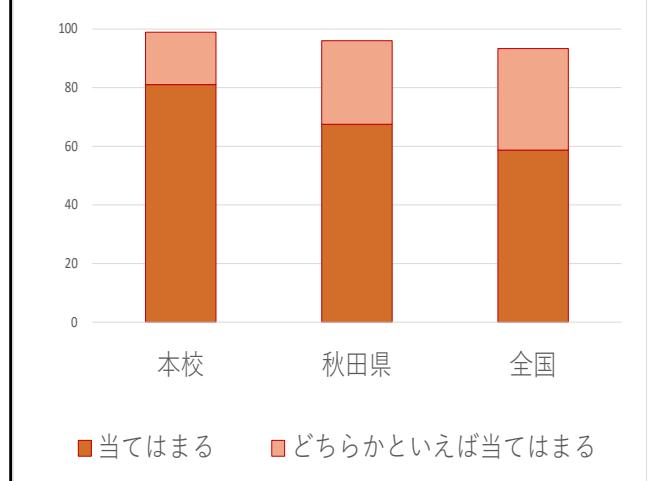
文部科学省は、これから時代に必要とされる資質・能力の一つに「情報活用能力」を挙げています。授業でICTを使わなくてもテストの点数は伸びますが、使わなければ情報活用能力は育ちません。しかも単に使うだけでなく、能力を育てる授業づくりが重要です。右下のグラフのように、全国どこの生徒もタブレットは役に立つと答えています。

今は成績に直結する実感がなくても、将来的に教育格差として表出する可能性が高いと考え、本校では非常に重視しています。

1、2年生で受けた授業で、タブレット等をどの程度使用したか



学習の中でタブレット等を使うのは勉強の役に立つ



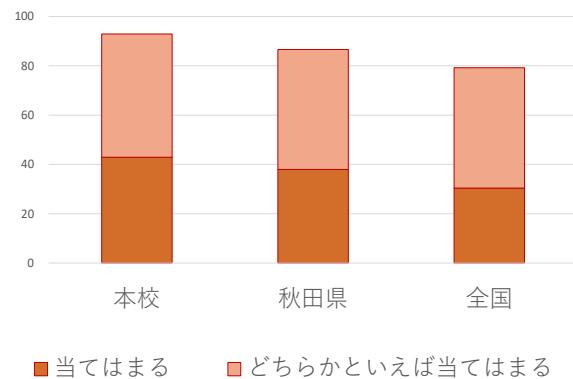
生徒質問紙(アンケート)結果③「授業に向かう姿勢」

裏ページのグラフ「自分から取り組む」「学びを見直す」などは、文部科学省が目指す授業づくりのキーフレーズです。本校は、昨年度まで文部科学省の研究の指定校として、授業づくりの強化に取り組んできました。授業に向かう姿勢が、グラフのように生徒の意識の高さとして出ており、良好な状況と言えます。

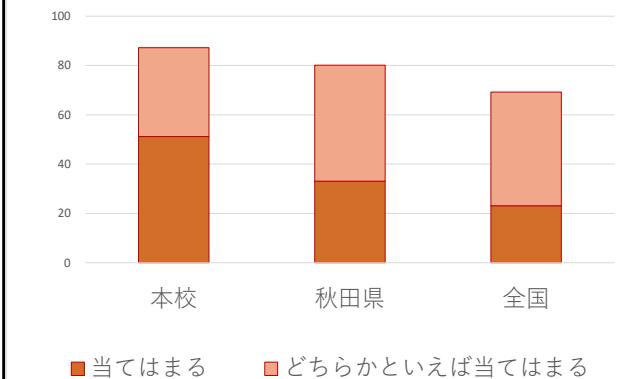
この他「授業で学んだことを他の学習で生かしている」などといった項目が良好な状況でした。

裏へ続く

授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた



学習内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげた



生徒質問紙（アンケート）結果④「家庭学習」の強化が全校の課題

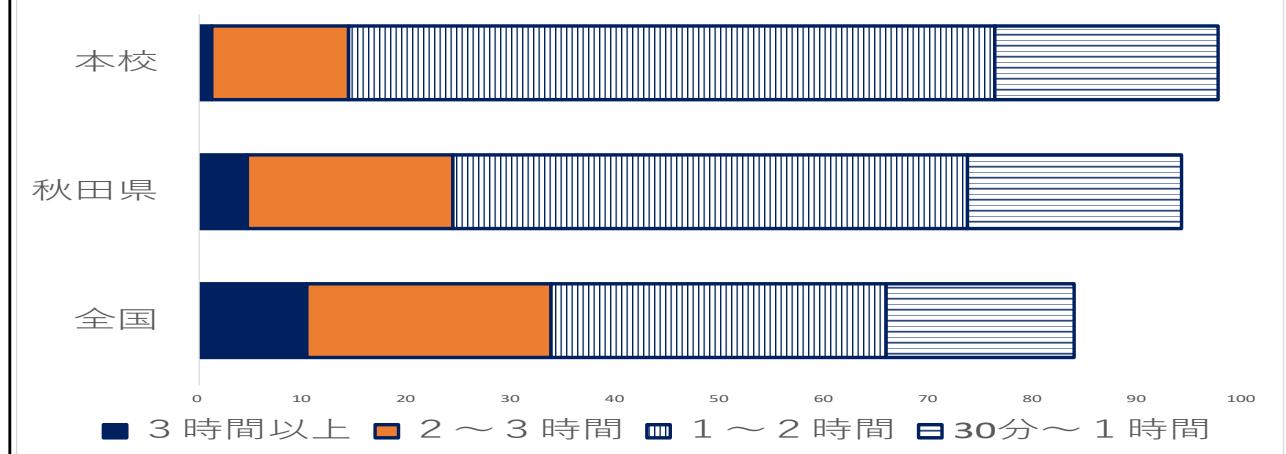
一方で、家庭学習（塾や家庭教師、オンライン学習も含む）については、もう少し頑張れる余地がありました。6月に全校で行ったアンケートでも同様でしたので1、2年生も含めて見直したい項目です。

- ・勉強の計画を立てること
- ・時間を増やすこと

下のグラフのように、全く勉強しない生徒は少ないのですが、勉強時間で見るともう少し頑張ってほしいところです。

現在、各学年部で家庭学習の強化を図る取組を進めています。タブレットの持ち帰りだけでなく、新たな家庭学習のスタイルとして「探究型の自学ノート」にも取り組んでいます。学年報等でご確認ください。

平日、学校の授業以外に1日当たりどれくらい勉強するか（塾や家庭教師、オンライン学習も含む）



第52回県中学校秋季体操競技大会：男子個人

○個人総合 1位 藤田 来生 2位 下坂 琉惺

○ゆか 1位：藤田 2位：下坂

○跳馬 1位：藤田 2位：下坂

○あん馬 1位：藤田 2位：下坂

○鉄棒 1位：藤田 2位：下坂